

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第145号

ななえ古写真物語 VOL. 145

鉄道か国道か

新峠下トンネル工事

昭和30年

峠下地区



当館には、所蔵はしているものの長い間調査できずに、いつ・どこで・何をしている写真かわからないでいる資料が数多くある。今回もそんな中からの一枚の紹介です。

偶然にも函館市中央図書館で同様の写真を所蔵していることがわかり調査したところ、どうやら、この写真は昭和30年11月13日付函館新聞の掲載記事に使用されたもので、七飯町の仁山～軍川の鉄道路線を増設する目的で、既にあった峠下トンネルに併設して新トンネルを開削している工事現場の様子を伝えた記事であった。列車の通過本数が増えるにしたがい危険が伴うため単線から複線にすることと、かねてより仁山～軍川間は勾配がきつい難所であったことから、1,250mにおよぶ新トンネルを掘削することで勾配改良を行い、緩和しようという目的で総工費2億円をかけ、作業員320人が昼夜かけて作業にあたり、翌年12月の開通を目指しているという。写真には山間に向かって並ぶ電柱と線路らしきものがあり、その手前では大きく掘削した地面に大量の木材が積まれている。山の稜線を頼りに場所の特定が出来ないかと、現「新峠下トンネル」付近を踏査したのだが、断定には至らなかった。

ただ、新聞記事を読む限り、現在の国道5号にある大沼隧道（トンネル）よりも函館側に位置することはほぼ間違いないものと思われる。

ところで、この区間の鉄路は、この工事の後も度々変更を重ねている。昭和36年ころには、老朽化が進む（旧）峠下トンネルの掘り直しをしており、その時に「熊の湯信号所」が設置された。この頃の鉄路は、国道5号の上を走っており、そのための鉄橋もあったという。ところが、昭和41年に、七飯駅から仁山を経由せず大沼へ向かう藤城線が開通し、新峠下トンネルを通るようになると、それまでこのトンネルに接続されていた線路や鉄橋は撤去され、さらには、熊の湯信号所も廃止となり、現在とほぼ変わらないの路線になったようだ。

ちなみに、この記事の調査をしている時に、同じ写真の解説で、国道5号の工事現場だという資料も見つかった。写真に木材が大量に積まれている様子について、土中に丸太を敷き、その上に砂をかぶせてアスファルト舗装をしているという説明だったのだが、国道5号の舗装化は昭和36年とある「七飯町史」の記載と齟齬が生じている。鉄路か国道5号か、どちらが正しいのかは、さらなる調査が必要なようだ。

4日

夜の博物館後期講座第一夜は、「函館のまちづくりと近代遺産」と題し、講師に北海道教育大学函館校の根本氏をお招きし、函館のまちづくりの歴史や、私たちにできることは何か？というところまでお話をしました。古いことと新しいことの接点を持ち、まちづくりの命題「豊さとは何か？」を考える。昔と今を連動させれば、楽しいことができる、と根本氏は言います。「まちづくり」は自分ができにに参加し、いろいろな目線を見て、そこにどういう文脈があるのかを考える。まち歩きを楽しむヒントが詰まった講座でした。



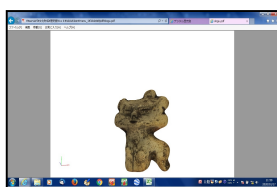
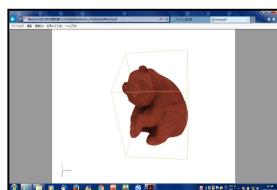
28日

ジュニア探検クラブは、そば打ちと餅つきを行いました。そば打ちは、練熟した技術が必要なため、例年ボランティアの方々の協力がかかせません。子どもたちは、真剣な表情でお手本をよく見て、覚えていきます。見るのと、実際にするのは、大違い。思い通りに進まない様子でしたが、打ちたてのそばの味を堪能しました。餅つきも、つき方を教わり、最後は自分たちで丸めて試食。身体を使い、美味しいものが口に運ばれるまで、多くの工程があることを知って欲しいと思います。



デジタル歴史館

歴史館がいま、知恵をしばり、力を注いでいることの一つ、収集している資料を、3Dでデータ化し、パソコンなどで細部まで見られるようにホームページで公開しています。考古、民俗、剥製資料など、まだ点数が少ないですが、今後、増やしていく予定です。収集した資料を大切に保存、管理し、新たな試みで、皆様にご覧頂き、関心を持って頂けたら幸いです。



編集後記 ~tawagoto~

雪の少ない年明けである。国道5号をはじめ、町のいたる所の道はアスファルトが顔をのぞかせており、車も走りやすい。さらには、冬の大仕事のひとつである軒下の排雪を行わずに済んでいる。ありがたいことだ。しかし安心も束の間、2月、3月に帳尻をあわせるかのごとく、ドカ雪がふることもありうる。過去の経験から、このままでは終わらないだろうと、身構えているわけなのだが、できれば穏やかな冬を過ごしたいものだ。（やまだひさし）

2月の予定

1	土	企画展「生業と手しごと」OPEN
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	夜の博物館
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	企画展ワークショップ開催日
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	ピチャリ146号発行予定
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	ジュニア探検クラブ↓

2月の休館日はありません。

タイトルの秀逸さ

装丁も手強い、目を引く本。写真による記録の大切さや国宝の新たな魅力を感じます。学習室にあります。



~ピチャリ~
第145号

令和2年1月20日発行
七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3
電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182
E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp